

平成30年度 上越市・妙高市在宅医療・介護連携 推進協議会 実務担当者会議が開催されました



2019年2月21日 上越市民プラザにて

2年目の成果を報告

平成30年度は、上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会が発足して2年目となり、引き続き4つの専門部会において、PDCAサイクルに沿って、様々な活動を行ってきました。

今回の実務担当者会議では、今年度の取り組みと成果を報告し、3年目へつなげていくための意見交換を行いました（各部会の活動報告は別添資料をご覧ください）。

各部会からの報告前に、上越地域在宅医療推進センター長の揚石先生より、1月17日に新潟県在宅医療・介護連携推進セミナーにおいてパネリストとして発表された、医療と介護の連携の取り組みについて報告していただきました。



【入退院時支援部会への意見等】

○フロー図やリストの作成等により、関係者で統一認識できることはよい。今後院内で看護師やソーシャルワーカー等と共有していきたい。



【多職種連携推進・研修部会への意見等】

○3年間同じアンケートをとることで一定の指標になると思われる。また、リーダーの活躍が重要なポイントなると思うので、地域連携連絡票を多職種で作ることについては、例えば薬剤師の参画など、これまでのリーダーも含めた取り組みができるとうい。



【ICT 連携部会への意見等】

○MC ネットは、利用者の状態がわかり、使っていていながらよさを実感している。

○訪問看護を使う多職種の事業所が増えて
いるが、連携を図る上で重要なツールとな
っている。ただし、開業医の先生の加入率
が低いと感じる。

→訪問看護から利用を勧めてもらったり、
活用のメリットを広めていきたい。



【普及啓発部会への意見等】

○一般市民にとっては言葉の使い方が難し
いため、もっと市民目線にしたほうがよ
い。また40～50代の働き盛りに対する
普及啓発のあり方について検討が必要。



最後に、上越地域在宅医療推進センター
の相澤コーディネーターより、介護支援専
門員と病院を対象とした、「上越地域の医
療と介護の連携に関する調査」の結果につ
いてご報告いただきました。



1年を振り返って

5月に代表者会議を開催し、前年度の振り
返りと今年度の課題を明確にできたことで、
どの部会も、連携を図りながら、昨年度以上
に様々な取り組みを行うことができました。

また、各部会の発表や意見をとおして、
「他の部会との連携」の必要性が見えてきま
した。

平成31年度は、これまでの積み上げの集
大成として、引き続き課題を整理しながら、
着実に前進していきたいと思えます。

☆次回☆

実務担当者会議は、部会の進捗状況を見な
がら1～2回/年の開催予定です。



